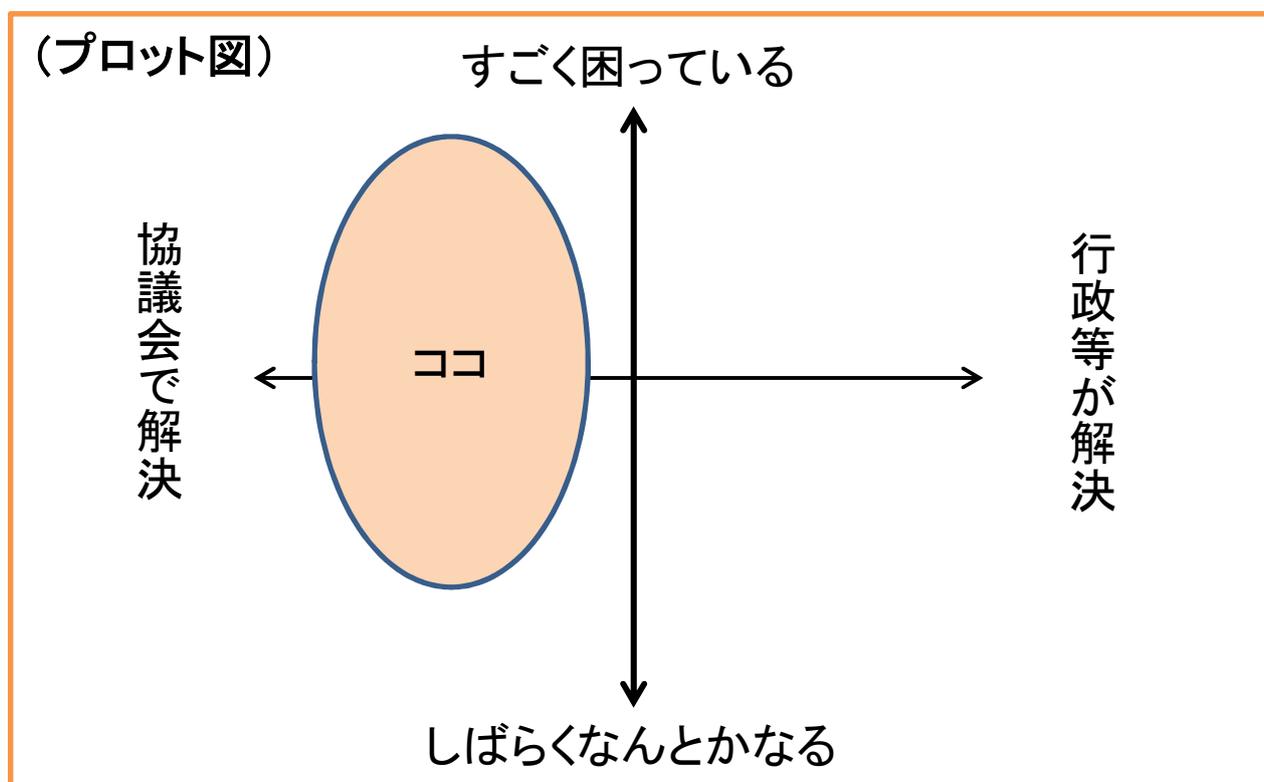


グループワーク①

地域コミュニティ組織の課題

【ワークの内容】

- 地域コミュニティ組織が抱える課題を付箋に書き出す
- 付箋をプロット図上に分類し、協議会で解決できる可能性のある課題を洗い出す



※記入内容は原文のまま

※付箋は4つのエリアに分類し、縦軸横軸の度合いは加味せず

A班 11年目

すごく困っている

- 活動内容のマンネリ化
- 情報発信不足
- コミュニティ活動に興味がある方に差がある
- 活動を行う人が固定されており、一人の負担が大きい
- 事務局の後継者がいない
- 後継者不足
- 地域活動の担い手がない。組織の行事が多く高齢者支え合いができていない
- 若い世代への活動の移行が難しい

- 困ったとき相談に乗ってもらえる人がいない
- 行政はグループワークやネットワークの推進母体となって欲しい

協議会で解決

- 協議会参加者が年々少なくなっている
- 活動をする人が限定され全体としての取組ができていない
- 三役の下に7部会があるが部会がうまく機能していない

行政等が解決

- 区長が2年任期で高齢化が進み、役員の受け手が少なくなりつつある

しばらくなんとかなる

B班 10年目

すごく困っている

- 後継者が見つからない 高齢化
- リーダーや組織運営に携わる人材の確保 役員等が高齢になっている
- 出席者がいつも同じメンバー
- 役員の方の負担が大きい。事業をする上で。
(みなさん仕事をしている方が多いので)
- 役員会(自治委員)出席者が少ない

- 組織の主たる構成団体である自治会が減少している
- 行政、社協関係会議多い
(会長、事務局長)

協議会で解決

行政等が解決

- 収入(事業)あまりない

しばらくなんとかなる

C班 20年目

すごく困っている

- 課題のとらえ方分からない
- 地域間の格差
- イベント等で人が集まらない。関心が無い人が多い
- 自主財源の確保

- 市の補助金が少ない。申請後の補助

協議会で解決

- 後継者不足
- 組織づくり人がいない、新しい組織を
- PTA世代の参加が少ない
- 各委員が重複
- 地域住民の共同意識醸成
- リーダー

行政等が解決

- 自主財源が少ない

しばらくなんとかなる

D班 10年目

すごく困っている

- 参加者が特定の人になっている
(役員等)行事など
- 役員不足、当職で役員になってもらって
るが参加が少ない
- 事業への参加が少ない
(1人の人に負担がかかりすぎる)
- 活動等への人員
- 若い人がいない
- 携わる人の年齢が高齢化、若い人の
参加、関心が少ない
- 地域リーダー不足(育成)
- 住民への理解度が低い。
活動がなかなか周知されない。
- 若い人の参加が少ない

○活動資金

協議会で解決



行政等が解決

- 会館から離れた地域の人への参加が
今ひとつ。
- 地域の人への関心が薄い(他人事?)
アンケートの回答参加呼びかけに対し
- 活動時間の調整
- 自主財源が少ない。
ふるさと納税が少しずつは増えているが
- 自立運営にむけた取組(補助金削減)

しばらくなんとかなる

E班 10年目

すごく困っている

- リーダーの後継者がいない
- 事務局の後継者不足
- 移動支援対象範囲が広いこと
- 人材の確保(役員)
- 活動の充実。マンパワーの確保、若い担い手不足

- 組織の運営資金
- 役員活動費確保 ほぼ無償でお願いしている
- 情報不足である (高齢のため外へ出ることが少なくなっている)
- 事務局の充実。事務局員雇用のための財源確保
- 施設の充実。旧公民館使用で会議室等不足。高齢者に2階等無理
- 活動資金の確保(自己資金)

協議会で解決

- 高齢者の進行で活動できる人が少なくなっている
- 役員会議の出席者の偏りがある
- 事業イベントの参加者少ない
- 事業のマンネリ化
- 活動資金の確保
- 会員の意識活動の差が大きくなってきている

行政等が解決

しばらくなんとかなる

F班 8年目

すごく困っている

- 会員の高齢化
- 人材女性の参加
- コミュニケーション不足
- リーダーの確保
- 事務局の後任が見つからない
- 後継者不足まつり等
- 会の後継者不足
- コミュニティ組織ができてない中
地域住民に同関心を持ってもらうか
- 組織活動協力者をどう作るか

- 行政をどう引き込むか
- 地域パートナー(市職員)の協力
- 役員給与の確保

協議会で解決

- 参加者が同じ人ばかり、
新しい人の参加
- 行事を担当する人不足
(老人を老人が支える)

行政等が解決

- 運営にかかる財源の確保

しばらくなんとかなる

G班 8年目

すごく困っている

- 事務局任せになっている
- 後継者がいない
- 協力者が高齢
- イベント参加の出席者が固定されている
- リーダーがいない
- 行事の参加者が固定される。行事の出席率が悪い
- 老人クラブや女性団体の組織が無くなってきている＝まちづくり組織の弱体化になっている
- 自治会の役員が住民自治協議会の役員を兼ねている。他になり手がいない
- 色々なことを考えても協議会では知識が無い

- 足がない

協議会で解決

- 充員の温度差がある
- 地域の温度差が激しい。4分会に分ける案が出ている

行政等が解決

- 役員が鼓動するための経費が制限されているので幅広く活動できない(交付金)
- 対象人口が多い割には予算が少ない

しばらくなんとかなる

H班 7年目

すごく困っている

- 手当がない。
 役員のボランティアでやっている
- 住民への宣伝不足(広報)
- 活動に若者の参加が少ない
- 住民に知られない
- 若年層の参加不足
- 40歳代に来て欲しい
- お金 市より60万円 金は0

- 地域そのものの人材不足。
 発掘に行政の力も必要

協議会で解決

- 住民の無関心(PR不足)
- 町の補助金で運営→独自財源がない
- 何を求めているかは？
 協議会の理事が他の団体の役員も
 兼ねているので人材不足
- 部会の低迷(有名無実)
- 目標?ターゲット?
- 活動に参加しないところが元気がある
- 各組織のリーダーのなり手が少なく
 苦勞する
- リーダー

行政等が解決

しばらくなんとかなる

I班 7年目

すごく困っている

- 自己資金の確保
- 協議会に対しての協力が少ない。興味
- 地域の人たちの理解

- 人口の減少
- 人材の確保
- 人口減少(高齢化)

協議会で解決

- 地域住民への周知
- 地域イベントへの参加者の確保
- 資金不足
- 人材不足及び高齢化(役員)
- 役員候補者の不足
- 部会活動の低迷

行政等が解決

- 資金 ボランティアにての活動に
限界あり
- 活動資金の確保

しばらくなんとかなる

J班 7年目

すごく困っている

- 大きな事業を行う上で人手が足りない
- 会長の任期が1年で毎年変わる
- 過疎化(人減)
- 高齢化
- 役員が重複の役をこなしている
- 役員があて職
- 後継者がいない
- 役員のなり手がいない
- 事業のマンネリ化
- 協議会会員の高齢化。若手の引き込み
- 人材の確保
- 活動資金の捻出
- 事務局体制の引継
- 自立の取り組み方
- 活動資金が少ない
- 事務局の後継者不足

- 県の研修多すぎる
- 自主財源の生み出し
- 運営費 市の補助金のみで
定期収入がない

協議会で解決

- 全体活動と4部会活動の調整連携
- 事務局に負担がかかり過ぎる

行政等が解決

しばらくなんとかなる

K班 5年目

すごく困っている

- コミュニティーセンターの利用の仕方
→公民館、体育館としての扱い等で利用
して、専門性が高く困っている。
利用規則等の決め事がない

- 自治会連合会との役割分担
- 活動資金の交付金が5年で終了する
ので次年度以降の財源確保が問題
である
- 活動費の不足
- 講師の情報が少ない
(地区民への情報提供をするため、した
いため)
- 環境整備

協議会で解決

- 活動する人員がない
- 組織人員が高齢のため無理な行動等を
お願いしにくい
- 事務局役割の人材がない
(地域支援員)
- 理事の協力不足(一部の新事業)
- 運営役員の交代期になっており、
強いリーダーシップを発揮できる
人材育成が問題である
- 学校区が違うためなかなか1つに
まとめにくい

行政等が解決

- 協議会では限界がある
- 個人的に自営(設計事務所)
しているので、仕事との両立が難しい

しばらくなんとかなる

L班 6～3年目

すごく困っている

- 後継者不足
- 参加者が少ない
- 実働部隊が60～70代新規加入者確保が大変
- お金の使い方について
- お金がない
- 足を引っ張る者がいる
- 地域住民への浸透が進まない
- 子育て世代との連携

- 自治単位で組織に対し温度差がある
- 力になる若者がいない

協議会で解決

- 交通費の支給について
- 事務局体制の充実 特に会計

行政等が解決

- 後継者の見つけ方
- 若い人への協力の求め方

しばらくなんとかなる

M班 3年目

すごく困っている

- 若い人の協力不足
(若い住民がいない)
- 後継者
- 事務局の後継者がいない
- 一部の人だけ頑張っている
- 出席者の固定化
- 60才以下の参加者が少ない
- 高齢化が進んでいる
- 作業は事務局の3人でやっています。
地元の方はボランティアでは参加してくれませんが日当代が欲しい
- 住民の意識変革
- 自己資金
- 作業用の機械(ショベルなど)車も欲しい(専門の)
- 運営方法がなかなか固まらない
- 自治会の役員になる人が少ない

- 資金がない(定期収入がない)
- 行政の支援がもっと欲しい
- 地区が高台にあり坂道である
- 公共交通機関での利用が不便
- 道路が狭い
- ピーマンサブレ 出荷できないピーマンをお菓子にして商品にしたい。
ノウハウがよく分からない
- 事務局員以外の人が出たときの経費が出せない
- 他県へ行って勉強したい。
例えば広島県の庄原市は竹の肥料で米作り何度も日本一になっている
一度見てみたい。

協議会で解決

行政等が解決

- スタッフ組織の広がり
- 必ずしも組織が一枚岩ではない

しばらくなんとかなる

N班 4年目

すごく困っている

- 人材不足
- 事務局の後継者不足
- 進む方向を検討中
- 自治区の協力の度合い
- 役員のなり手がいない
- 予算の関係で常駐者の人件費不足
- 地域づくりの担い手がいない
(人材不足)
- 行事に参加する人が固定化している
- 仕事の現役者が多く、職種も違う
- 農業者が多く集合が困難
- まちづくりをどんな形で進めて良いか
分からない

- 住民自治が育っていない
- 7自治区の統合
- 指定管理で制限が多い
- 多人数集まれる場所がない

協議会で解決

- 人材(育成)

行政等が解決

しばらくなんとかなる

〇班 5年目

すごく困っている

- 60～65才の活動低下
- 役員体制の確立特に男性
- 参加者のマンネリ化
- 事務局の後継者がいない
- 事務局機能、人材
- 同じ人物に役が集中している
- 若い世代の参加が低い
- 事務局が司令塔になってしまっている

- 自治委員会
- 組織の自主財源
- 法人化について
- 補助事業請負組織
- イベント問題
- 自由な活動資金不足

協議会で解決

- 当事者意識が低い
- 危機意識がない
- 部会が機能していない
- 協議の不活性化
- 役員間の確執

行政等が解決

しばらくなんとかなる

P班 1.5年目

すごく困っている

- 人材不足確保
- 後継者が少ない
- 婦人の活躍が内
- イベントに参加する人が多様化しない。
参加する人が決まっている
(若い人の参加者が少ない)
- 活動運営資金
- 活動資金
- 資金
- 住民意識の不足
- 活動資金が少ない
- 賃金の要求がある
- リーダー不足
- 住民の意識を変えたいのだが
- スタッフ不足
- 住民に意義が伝わってない
- 支援員の立ち位置

- 買い物通院用にふれあい交通を運行しているが(週2便)身体的弱者にはきつい
- 拠点が内
- イノシシの獣害が増えている
- 何でも行政に要求すれば良いと考えている
- 意識の改革

協議会で解決

- 役員になる人が少ない
- 4役のなり手がいない
- 男性の参加が少ない
- 山の手入れが全くできていない

行政等が解決

- 活動の資金不足

しばらくなんとかなる

Q班 1年目

すごく困っている

- 地域住民の参加を促す手法
- 地域の人々の意識
- 生活の格差が多くとりまとめるのが難しい

- 拠点(活動)施設の確保充実
- 活動の拠点校区公民館の設置(拠点施設)

協議会で解決

- 人材 役員(特に女性)
- 現在は良いが将来運営に関する人材の確保(後継者)

行政等が解決

- 運営に関するアドバイス(ノウハウ)
- 自主財源の確保
- 財政的な支援(財源)

しばらくなんとかなる